三　係数の求め方

係数は次の式により求める。ただし、消火剤が二酸化炭素で、かつ、二に規定する試験手順によって算出した値Cが二十二パーセント以下である場合、消火剤が窒素で、かつ、Cが三十三・六パーセント以下である場合、消火剤がＩＧ―五五で、かつ、Cが三十四・四パーセント以下である場合又は消火剤がＩＧ―五四一で、かつ、Cが三十五・三パーセント以下である場合にあっては、係数は一・〇とする。

$$K=\frac{\ln\left(1-\frac{C}{100}\right)}{\ln\left(1-\frac{C_s}{100}\right)}$$

Kは、係数（消火剤が二酸化炭素である場合にあっては小数点以下第二位を四捨五入して得た数値を〇・二刻みとして切り上げるものとし、消火剤が窒素、ＩＧ―五五又はＩＧ―五四一である場合にあっては小数点以下第二位を切り上げるものとする。）

Csは、ノルマルヘプタンの係数を一とするための基準濃度であって、二酸化炭素にあっては二十パーセント、窒素にあっては三十三・六パーセント、ＩＧ―五五にあっては三十四・四パーセント、ＩＧ―五四一にあっては三十五・三パーセントとする。

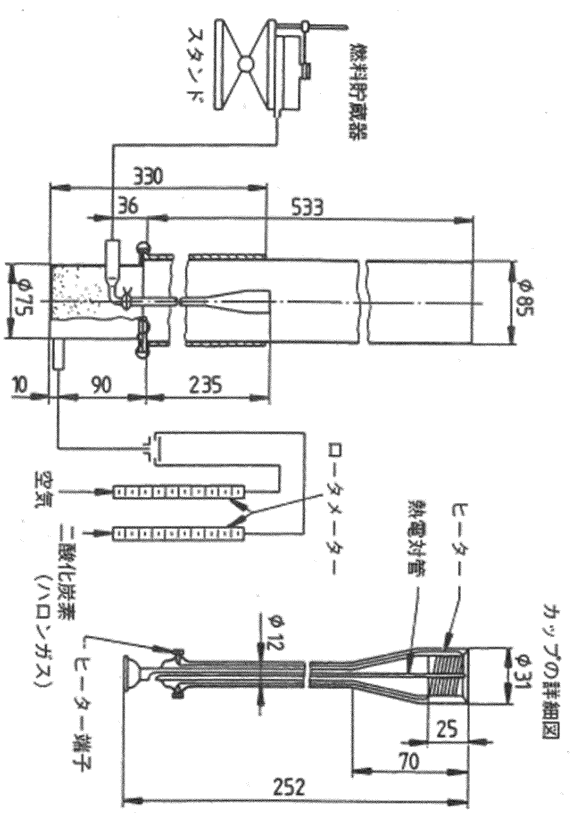


図１　カップ燃焼装置

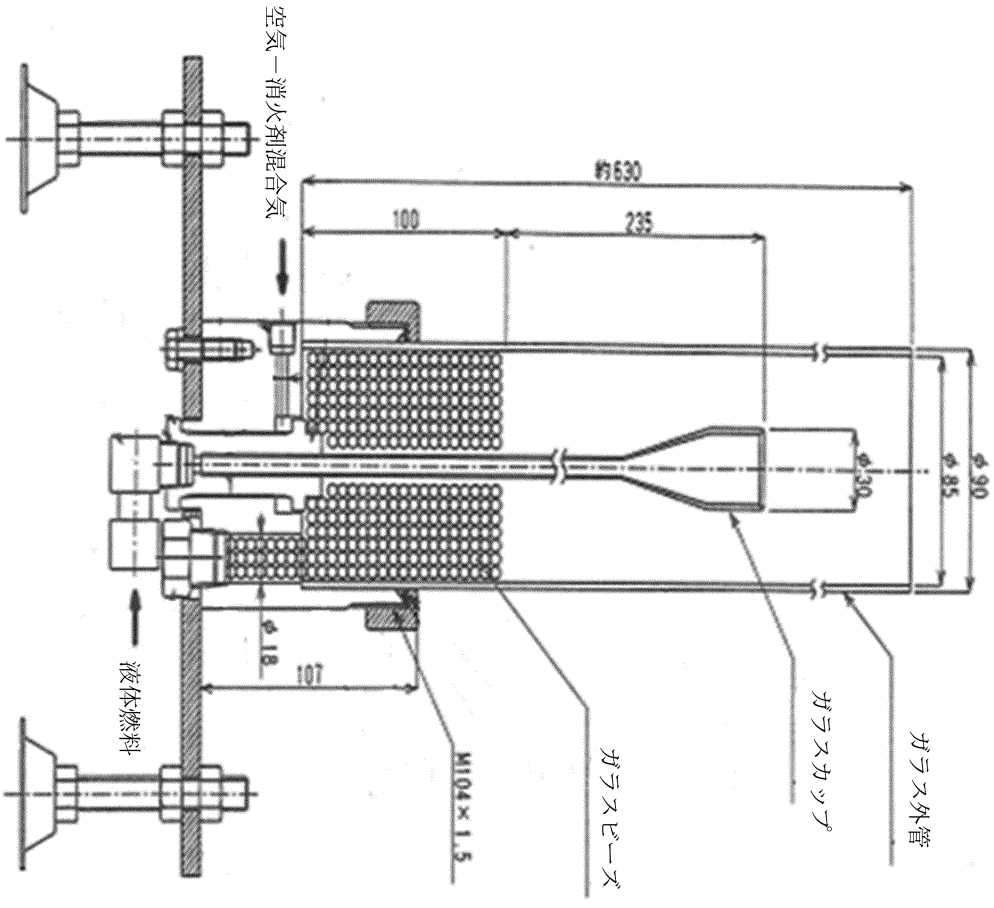


図２　カップ燃焼装置（FRIガラスカップバーナー）